

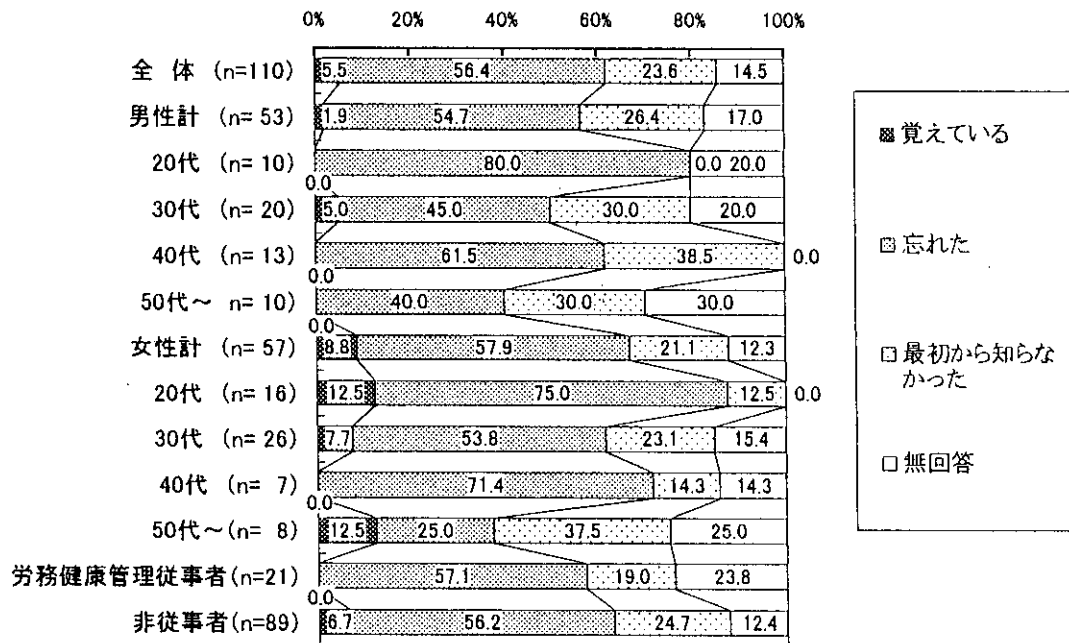
IV. 薬剤の認知状況

1. インフルエンザの診療時に処方された薬剤の認知

病院に行ったときに処方された薬の名前を「覚えている」人は5.5%と非常に少なく、「忘れた」は56.4%、「最初から知らなかった」は23.6%であった。

性別にみると、「覚えている」割合は女性が8.8%であるのに対し、男性は僅かに1.9%と非常に低い。

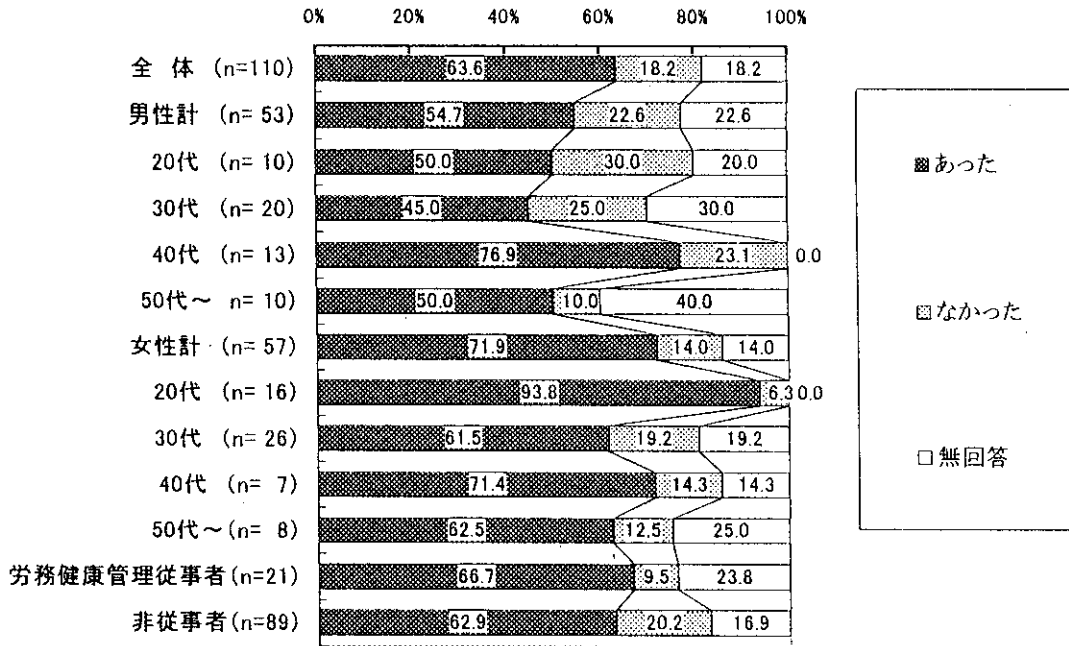
また、薬の剤型は「錠剤内服」が56.4%と最も多く、次いで「カプセル内服」(46.4%)、「粉末服用」(40.9%)、「粉末吸入」(0.9%)となっている。



(MA%)						
	調査数 (n=)	粉末服用	粉末吸入	カプセル内服	錠剤内服	無回答
全体	110	40.9	0.9	46.4	56.4	20.9

2. インフルエンザの診療時に処方された薬剤の説明の有無

薬について医師からの説明が「あった」ケースは63.6%と約2/3を占めている。



3. 「リレンザ」の認知状況

グラクソ・ウェルカム社「リレンザ」の認知者は1.8%（2件）であり、「知らない」は94.5%を占めている。

認知媒体としては、「テレビニュース」と「新聞」がそれぞれ1件ずつとなっている。

また、処方の意向は「意向あり」、「意向なし」が1件ずつとなっている。

(%)

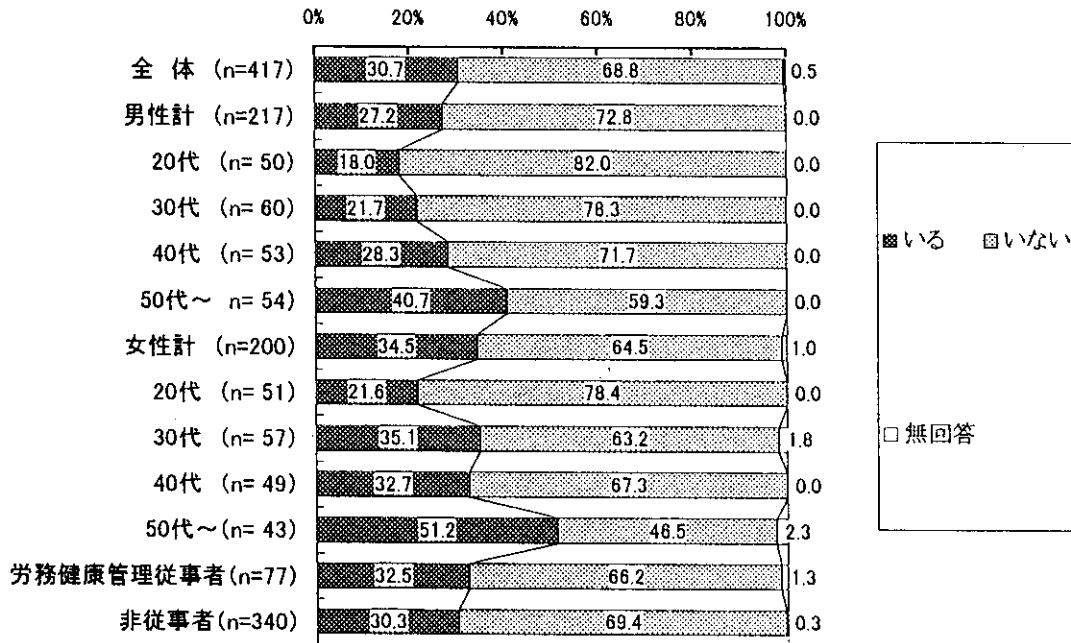
	調査数 (n=)	名前を見聞きしたことがある	知らない	無回答
全体	110	1.8	94.5	3.6

V. 日常の診療の状況

1. かかりつけ医の有無

かかりつけ医が「いる」人は 30.7%であり、68.8%と2/3は「いない」としている。性別にみると、男性に比べ女性が僅かながら「いる」割合が高い。

年齢別にみると男女とも高齢層ほどかかりつけ医が「いる」割合が高い。

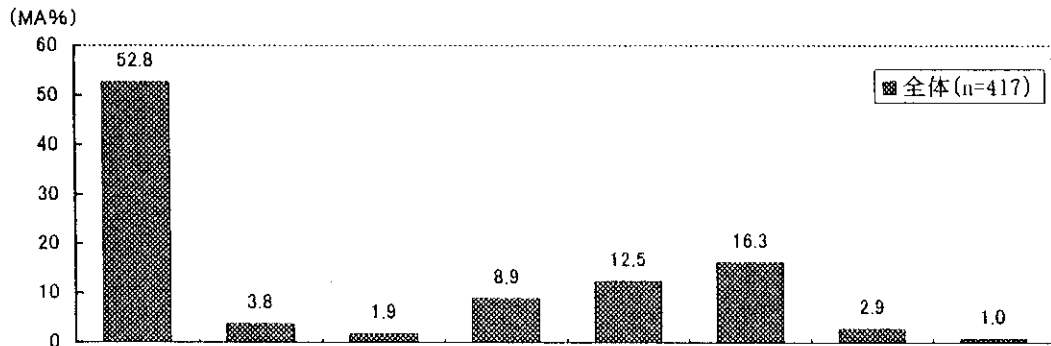


2. インフルエンザ罹患時等の受診状況

①受診医療機関

インフルエンザや重い風邪のときにかかる医療機関としては、「診療所・医院・クリニック」が52.8%と半数を占め、次いで「会社の医務室・診療所」が12.5%となっている。一方、「ほとんど病院には行かない」は16.3%、「行ったことはない」は2.9%であった。

性・年齢別、労務・健康管理業務の有無別では大きな差はみられない。



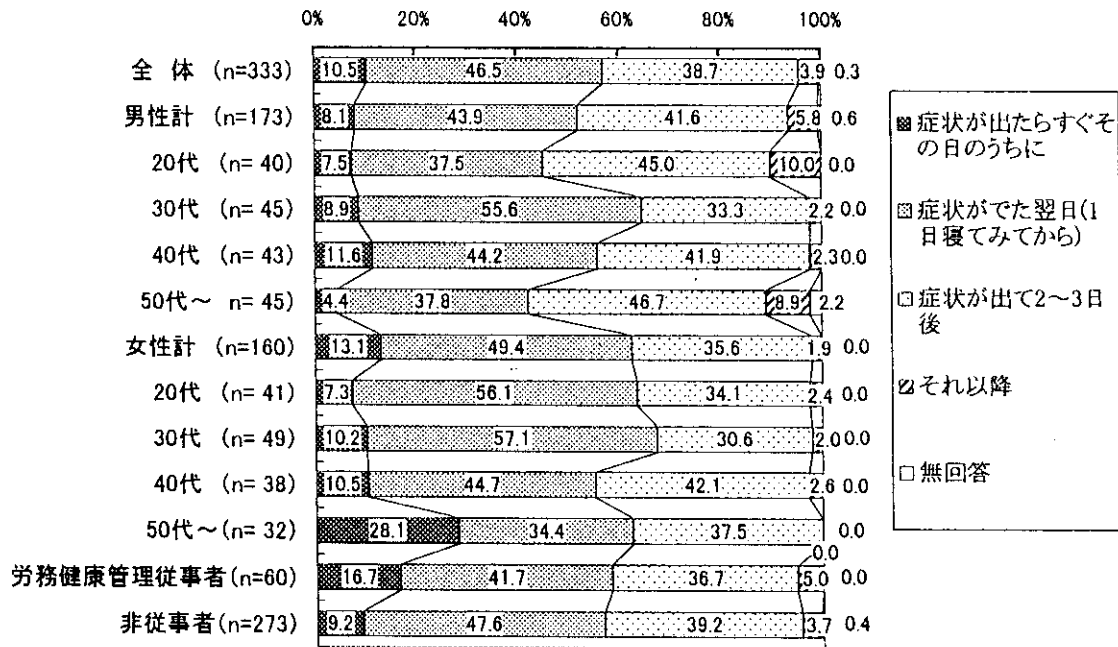
	調査数 (n=)	診療所・医 院・クリニ ック	医師数が2 ～3名程度 の中小病院	大学病院	内科・外科 をはじめ複 数の診療科 がある大病 院	会社の医務 室・診療所	ほとんど病 院には行か ない	行ったこと はない	無回答
全 体	417	52.8	3.8	1.9	8.9	12.5	16.3	2.9	1.0
男性計	217	52.1	3.7	1.8	7.8	14.3	15.7	4.6	0.0
20代	50	52.0	4.0	2.0	8.0	14.0	20.0	0.0	0.0
30代	60	40.0	8.3	5.0	6.7	15.0	18.3	6.7	0.0
40代	53	58.5	0.0	0.0	5.7	17.0	17.0	1.9	0.0
50代～	54	59.3	1.9	0.0	11.1	11.1	7.4	9.3	0.0
女性計	200	53.5	4.0	2.0	10.0	10.5	17.0	1.0	2.0
20代	51	52.9	3.9	0.0	11.8	11.8	17.6	2.0	0.0
30代	57	52.6	5.3	3.5	14.0	10.5	14.0	0.0	0.0
40代	49	53.1	6.1	0.0	10.2	8.2	14.3	2.0	6.1
50代～	43	55.8	0.0	4.7	2.3	11.6	23.3	0.0	2.3
労務 健康 管理									
従事者	77	51.9	2.6	1.3	6.5	15.6	14.3	6.5	1.3
非従事者	340	52.9	4.1	2.1	9.4	11.8	16.8	2.1	0.9

②受診までの期間

症状が出てから病院に行くまでの期間は「症状が出た翌日」が最も高く 46.5%、次いで「症状が出て2～3日後」が38.7%、「症状が出たらすぐその日のうちに」は10.5%であった。

性・年齢別にみると、女性では「症状が出た翌日」が56.1%と半数を占め、「症状が出て2～3日後」が34.1%であるのに対し、男性ではそれぞれ4割程度となっており、男性は女性に比べ発症から病院に行くまでの期間がやや長い人が多い。

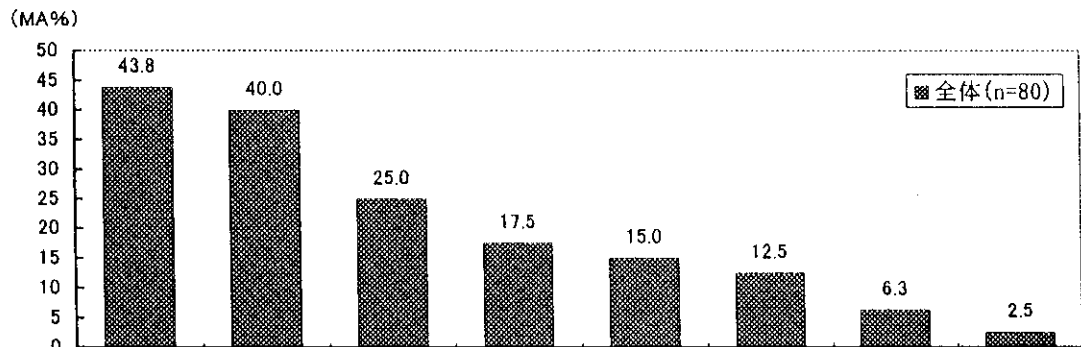
労務・健康管理業務の有無別では、「症状が出たらすぐその日のうちに」が業務従事者では16.7%とやや高い。



③受診しない理由

病院にはほとんど行かない、行ったことがない理由としては、「自然に治ると思っているので」(43.8%)、「寝るのが一番だと思っているので」(40.0%)、「あまりたいしたことがない症状なので」(25.0%)などが20%以上で挙げられている。

性別にみると、男性では「寝るのが一番だと思っているので」が52.3%と最も高く、また「面倒なので」は女性を上回っている。一方、女性では「あまりたいしたことがない症状なので」、「熱が高く外出するのがつらいので」などが男性を上回っている。

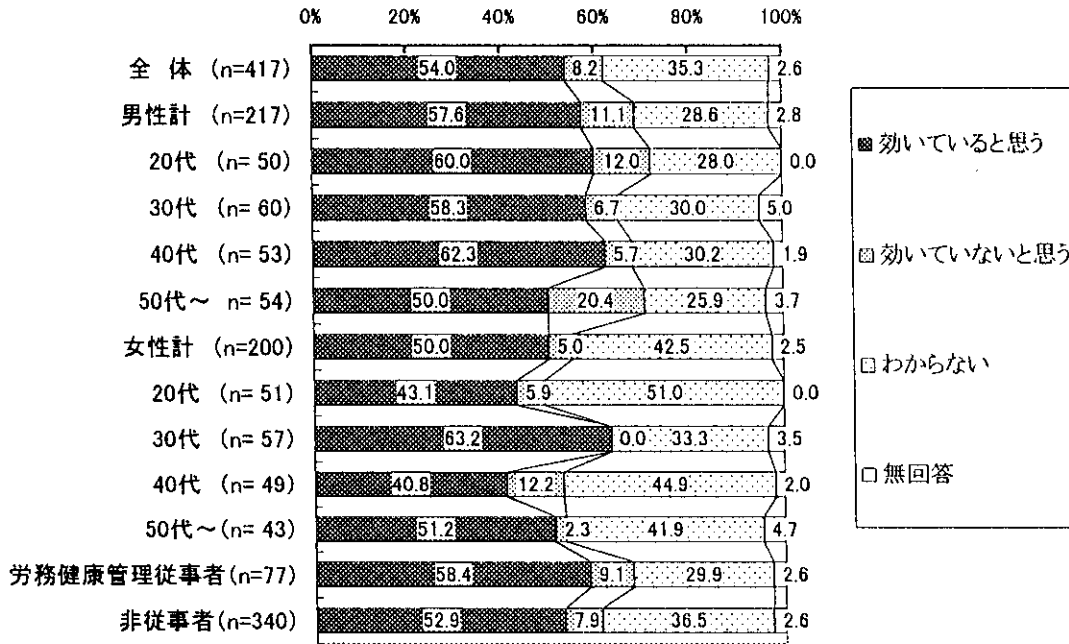


	調査数 (n=)	自然に治る と思っている ので	寝るのが一 番だと思っ ているので	あまりたい したことが ない症状な ので	面倒なので	熱が高く外 出するのが つらいので	時間がない ので	その他	無回答
全 体	80	43.8	40.0	25.0	17.5	15.0	12.5	6.3	2.5
男性計	44	43.2	52.3	15.9	25.0	9.1	15.9	2.3	2.3
20代	10	30.0	40.0	20.0	40.0	10.0	20.0	0.0	0.0
30代	15	33.3	66.7	6.7	33.3	20.0	20.0	0.0	0.0
40代	10	70.0	40.0	30.0	20.0	0.0	20.0	0.0	10.0
50代～	9	44.4	55.6	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
女性計	36	44.4	25.0	36.1	8.3	22.2	8.3	11.1	2.8
20代	10	40.0	20.0	30.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0
30代	8	50.0	0.0	25.0	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5
40代	8	75.0	37.5	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0
50代～	10	20.0	40.0	50.0	10.0	20.0	0.0	10.0	0.0
労務健康 管理									
従事者	16	37.5	56.3	37.5	18.8	31.3	12.5	0.0	0.0
非従事者	64	45.3	35.9	21.9	17.2	10.9	12.5	7.8	3.1

④受診に処方される薬剤の効果

インフルエンザで病院で出される薬の効果について、「効いていると思う」は 54.0%と半数を占め、「効いていないと思う」は 8.2%、「わからない」は 35.3%であった。

性別にみると「効いていると思う」、「効いていないと思う」それぞれ男性が女性を上回っている。



VI. インフルエンザに効果的な薬剤についての意識

1. 罹患初期服用により症状を軽減する薬剤についての評価

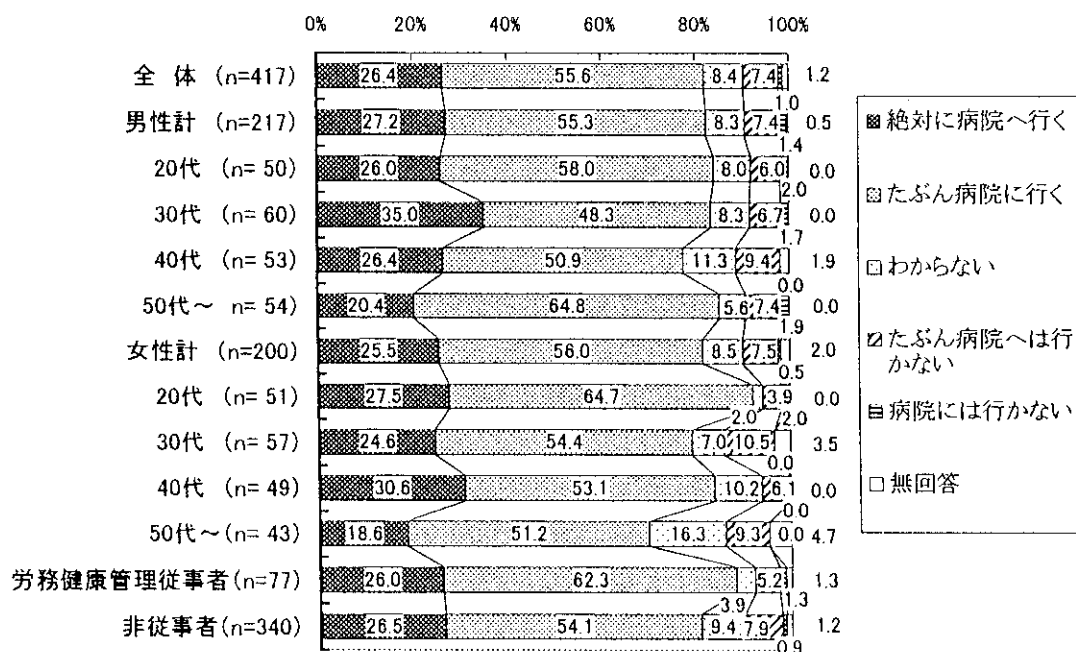
①通院の有無

インフルエンザに対して効果のある薬が処方される場合、「絶対病院へ行く」は 26.4%、「たぶん病院へ行く」は 55.6%であり、病院へ行くとする人が 82.0%を占めている。また、家族の場合は「病院へ行かせるようにする」は 78.2%であった。

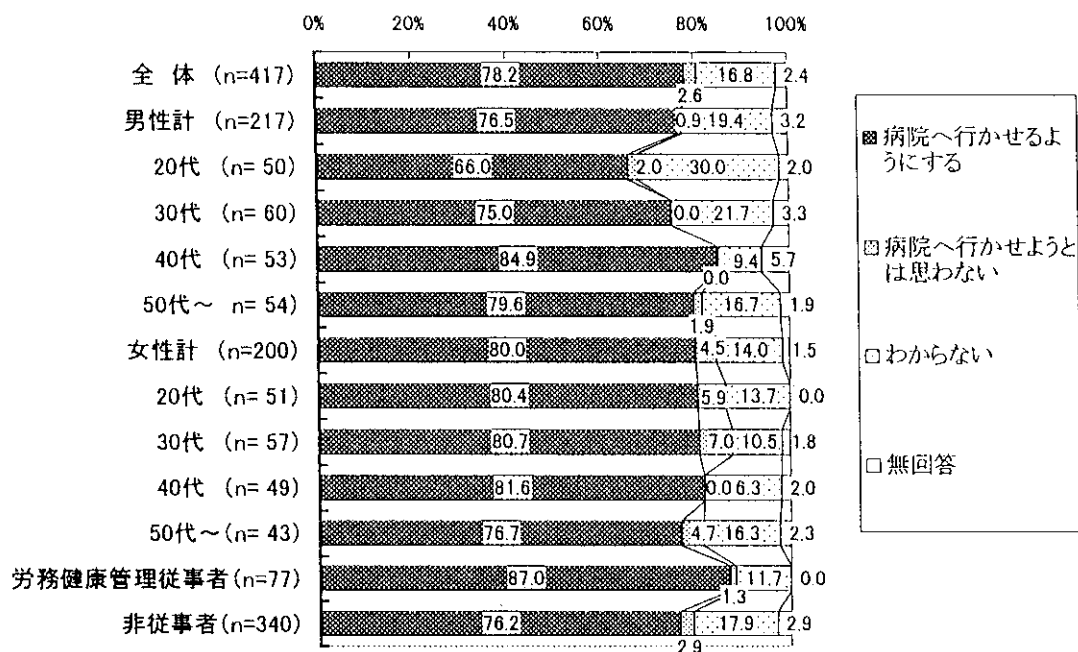
性・年齢別にみると、「絶対病院へ行く」割合は男女とも 50 代以上でやや低くなっている。

労務・健康管理業務の有無別にみると、業務従事者では本人、家族とも病院に行くとする割合が非従事者に比べて高くなっている。

本人の場合



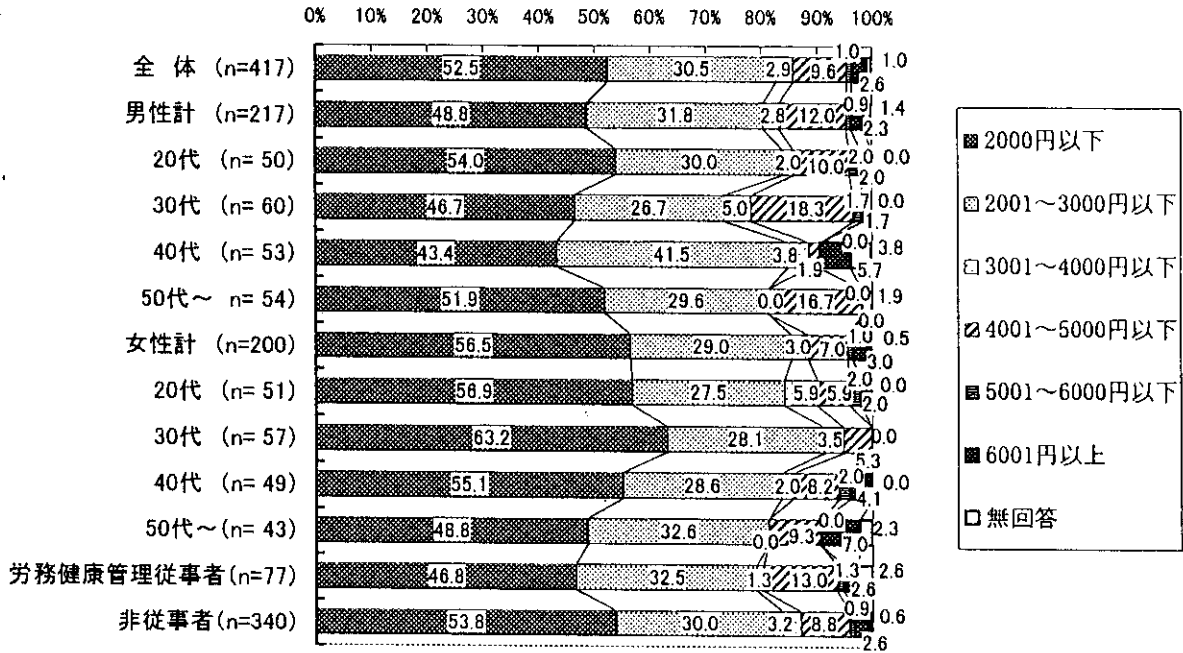
家族の場合



②治療費の上限

5日分の薬代を含めた1回あたりの治療費の上限としては、「2,000円以下」が52.5%と半数を占め、次いで「2,001～3,000円」が30.5%となっており、3,000円以下で8割以上を占めている。

性・年齢別にみると、「2,000円以下」が男性48.8%に対し、女性56.5%とやや高く、特に女性30代では63.2%を占めている。

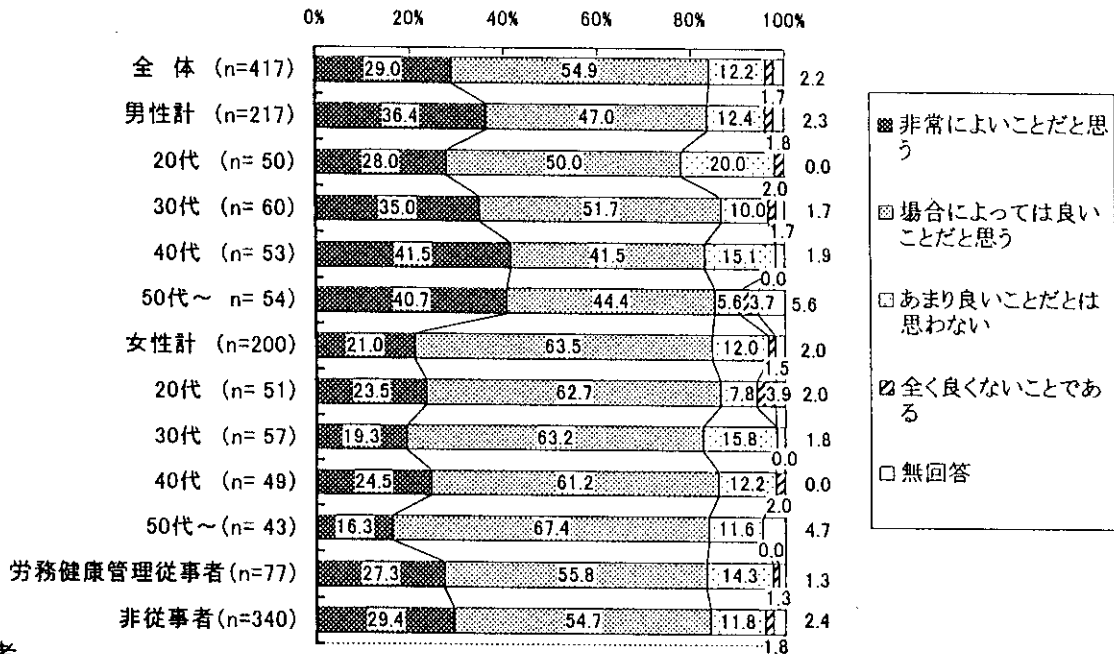


2. 家族が罹患した場合の予防薬の服用についての意識

①服用の意向

家族がインフルエンザにかかった場合の予防薬の服用について「非常によいことだと思う」は29.0%、「場合によってはよいことだと思う」は54.9%であり、肯定的評価は83.9%を占めた。一方、「あまりよいことだとは思わない」は12.2%、「全くよくないことである」は1.7%であり、否定的評価13.9%であった。

性別にみると、肯定的評価全体の割合は男女で差がないものの「非常によいことだと思う」は男性36.4%に対して、女性は21.0%とやや低くなっている。

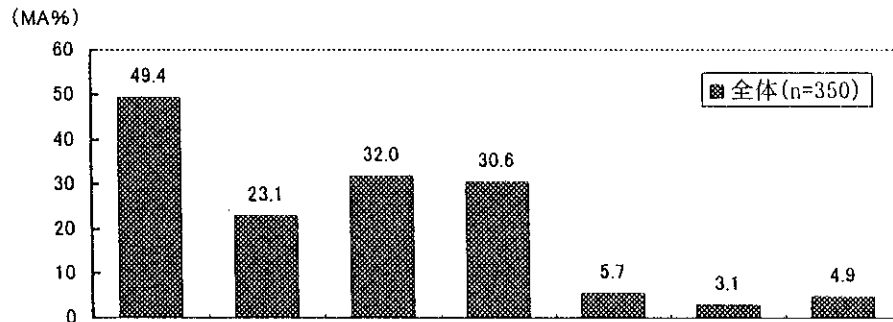


②服用者

家族の中で予防薬を服用する可能性の高い人は「自分自身」が最も高く 49.4%、次いで「配偶者」(32.0%)、「子供」(30.6%)、「親」(23.1%)となっている。

性別にみると、男性では「配偶者」と「子供」がそれぞれ4割と高く、女性では「親」が 32.5%と高くなっている。

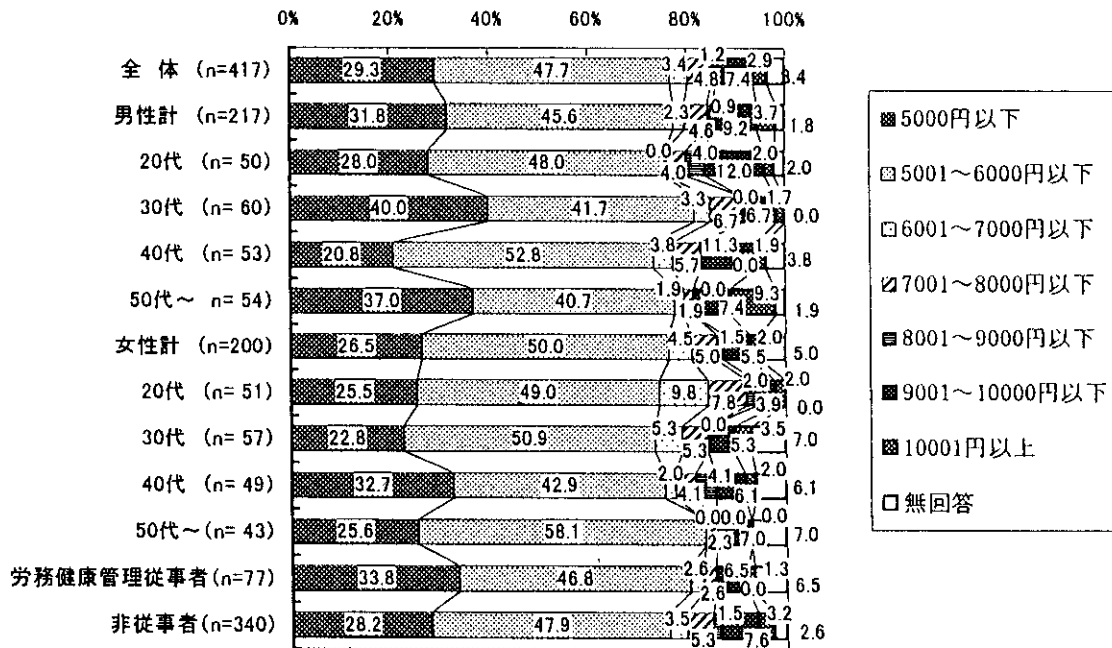
労務・健康管理業務の有無別にみると、非従事者では「自分自身」が 52.1%であるのに対し、業務従事者では 37.5%と低い。



	調査数 (n=)	自分自身	親	配偶者	子供	祖父母	兄弟、姉妹	無回答
全 体	350	49.4	23.1	32.0	30.6	5.7	3.1	4.9
男性計	181	49.7	14.4	40.9	40.9	5.0	2.8	3.9
20代	39	46.2	30.8	17.9	20.5	12.8	5.1	2.6
30代	52	46.2	11.5	46.2	38.5	1.9	3.8	1.9
40代	44	50.0	6.8	45.5	56.8	2.3	2.3	2.3
50代～	46	56.5	10.9	50.0	45.7	4.3	0.0	8.7
女性計	169	49.1	32.5	22.5	19.5	6.5	3.6	5.9
20代	44	47.7	34.1	13.6	9.1	11.4	6.8	6.8
30代	47	48.9	36.2	25.5	8.5	6.4	4.3	4.3
40代	42	50.0	23.8	31.0	35.7	4.8	2.4	7.1
50代～	36	50.0	36.1	19.4	27.8	2.8	0.0	5.6
労務 健康 管理								
従事者	64	37.5	28.1	39.1	37.5	3.1	3.1	6.3
非従事者	286	52.1	22.0	30.4	29.0	6.3	3.1	4.5

③予防薬の費用

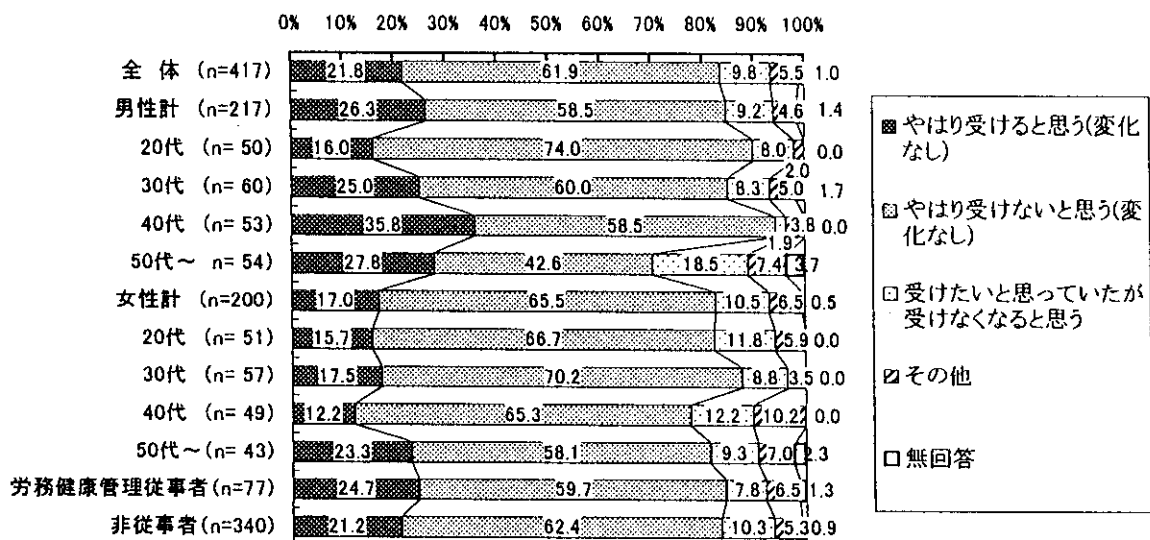
予防薬の費用としては、「5,001～6,000円」が最も高く47.7%、次いで「5,000円以下」が29.3%を占めている。



3. 予防薬の処方による予防接種への態度の変化

インフルエンザに対して治療・予防効果のある薬が病院で処方される場合、予防接種に対する態度についてたずねたところ、「やはり受けると思う(変化なし)」が21.8%、「やはり受けないと思う(変化なし)」が61.9%を占め、「受けたいと思っていたが受けなくなると思う」と態度を変更した人は9.8%であった。

性・年齢別にみると、男性50代以上では「受けたいと思っていたが受けなくなると思う」と態度を変更した人が18.5%と多くなっている。



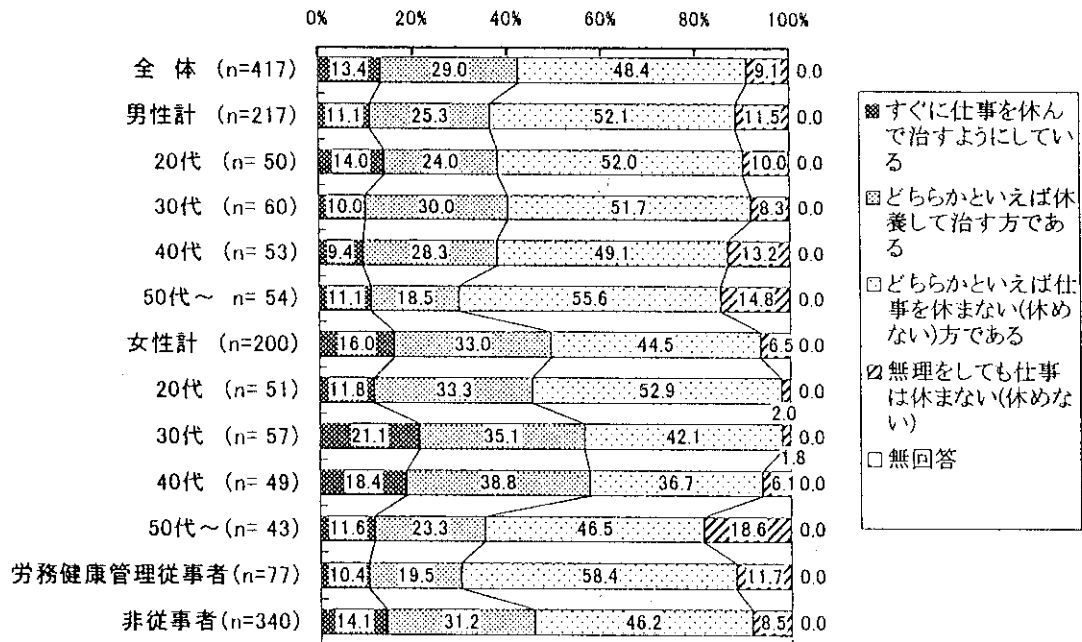
VII. 病気とパーソナリティの関連

1. 病気とパーソナリティの関連

① 病気と休職の状況

病気をした場合に仕事を休むことについてたずねたところ、「すぐに仕事を休んで治すようにしている」は13.4%、「どちらかといえば休養して治す方である」は29.0%であり、休養を取るとする人は42.4%を占める。一方、「どちらかといえば仕事を休まない(休めない)方である」は最も多く48.4%、「無理をしても仕事は休まない(休めない)」は9.1%であり、仕事を休まない(休めない)とする人は57.5%と半数以上を占めている。

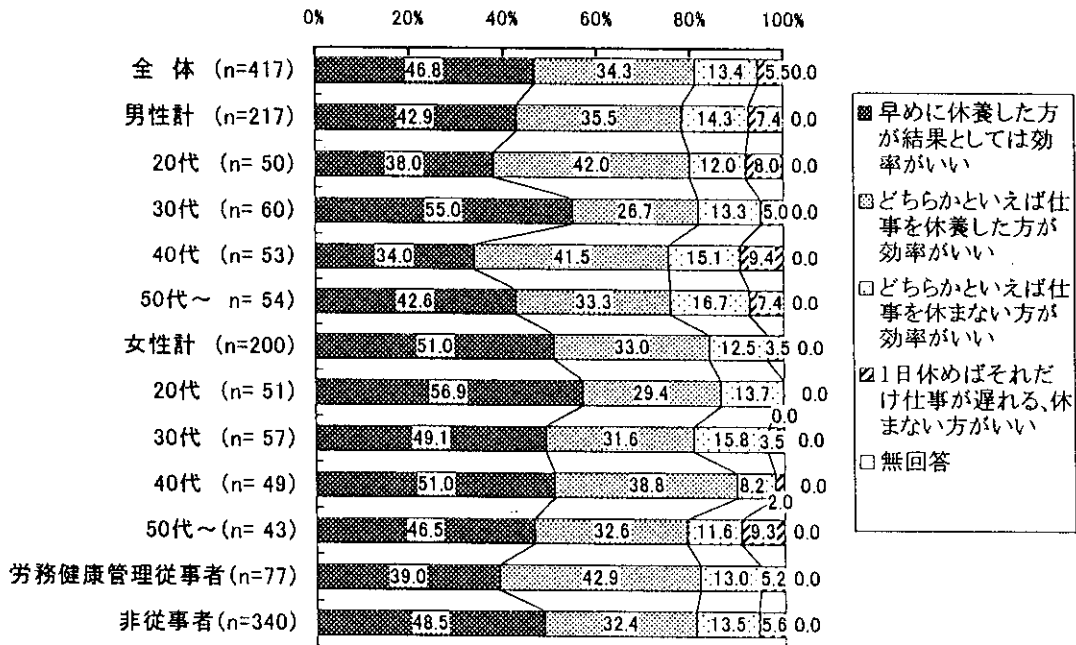
性・年齢別にみると、女性に比べ男性の方が仕事を休まないとする人が多くみられる。また、男女とも50代以上の層で仕事を休まない人が多い。



②病時における休養と仕事の効率

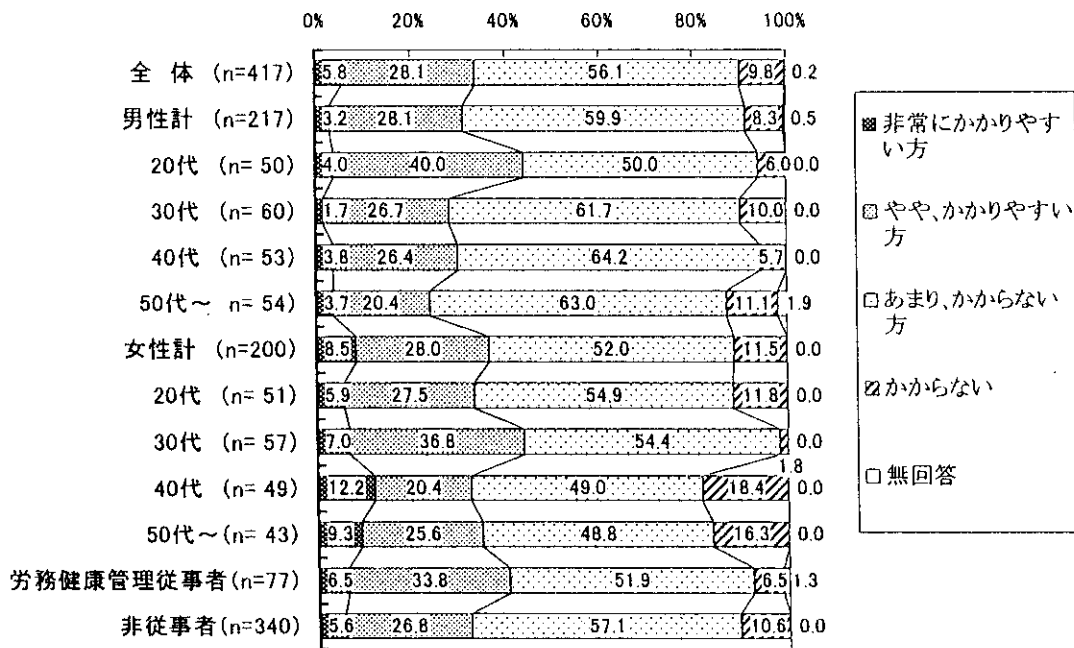
休養を取る場合と取らない場合で仕事の効率はどちらがよいかをたずねたところ、「早目に休養した方が結果としては効率がいい」が最も多く 46.8%、「どちらかといえば仕事を休養した方が効率がいい」は 34.3%を占め、81.1%が休養を取った方が効率的であるとしている。

性別にみると、男性に比べ女性の方がより休養を取った方が効率的であるとしている。



③インフルエンザや風邪のかかりやすさ

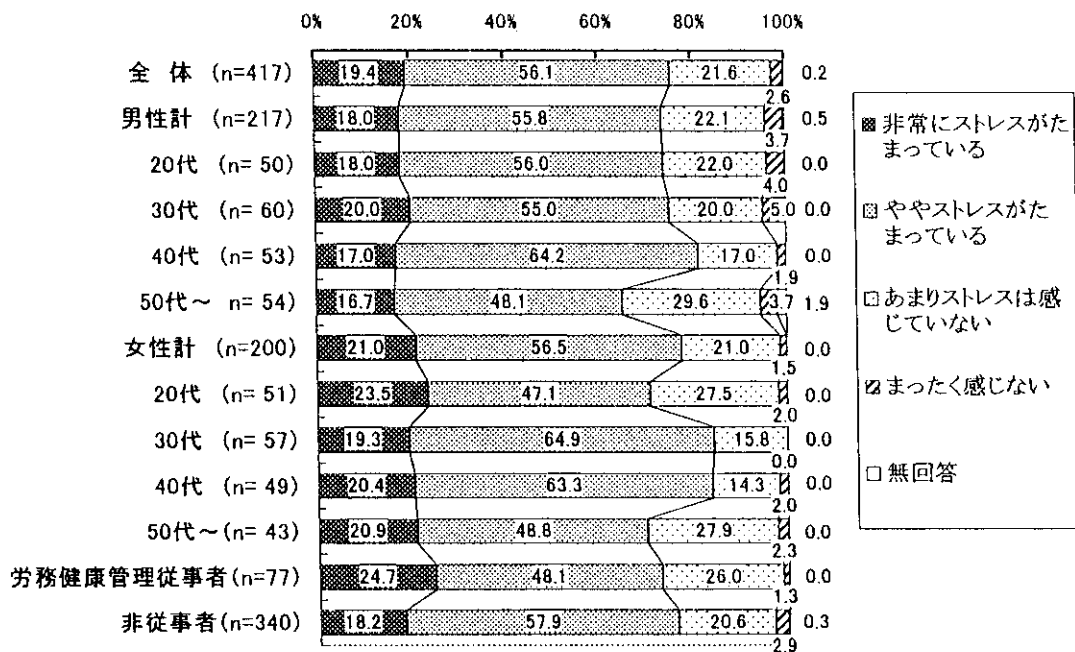
インフルエンザや風邪にかかりやすいかをたずねたところ、「あまりかからない方」が56.1%と半数以上を占め、「かからない」(9.8%)を合わせ、65.9%がかからない方であるとしている。一方、「非常にかかりやすい」は5.8%、「ややかかりやすい方」は28.1%であり、かかりやすい方とする人は33.9%であった。



④仕事のストレスの状況

仕事のストレスがたまっているかをたずねたところ、「ややストレスがたまっている」が56.1%と半数以上を占め、「非常にストレスがたまっている」(19.4%)を合わせ、ストレスがたまっていると感じている人が75.5%と3/4を占めている。一方、「あまりストレスを感じていない」は21.6%、「まったく感じない」は2.6%であった。

性・年齢別にみると、ストレスがたまっていると感じている人は、男性では40代、女性では30代、40代がやや多くなっている。



2. Type A得点による分析

性・年代別に「あてはまる」と回答した項目を上位5つまで挙げると以下ようになる。

(MA%)

	1	2	3	4	5
全体	20.よく食べる方である 53.5%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 49.6%	09.負けずぎらいだと思ふ 47.0%	37.テレビはよく見る 45.6%	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 44.8%
男性 計	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 53.5%	23.誰かと話している時その人がなかなか 50.2%	20.よく食べる方である 49.8%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 49.3%	37.テレビはよく見る 47.0%
20代	09.負けずぎらいだと思ふ 64.0%	42.歩くのが速い方である 58.0%	22.刺激的なことが好きである 56.0%	29.いい仕事をしたとき、その仕事が正当 54.0%	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 52.0%
30代	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 60.0%	20.よく食べる方である 53.3%	09.負けずぎらいだと思ふ 50.0%	08.しなければならないことがいつもたくさんある 50.0%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 48.3%
40代	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 60.4%	20.よく食べる方である 58.5%	23.誰かと話している時その人がなかなか要点に入らないとせきたてたくなる 56.6%	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 54.7%	42.歩くのが速い方である 50.9%
50代～	23.誰かと話している時その人がなかなか要点に入らないとせきたてたくなる 57.4%	37.テレビはよく見る 51.9%	25.どちらかというとおとなしい方だと思ふ 50.0%	28.食事は人より速い 48.1%	34.期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている 46.3%
女性 計	20.よく食べる方である 57.5%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 50.0%	09.負けずぎらいだと思ふ 48.0%	04.友だちなどから頑張り屋だと思われている 46.5%	37.テレビはよく見る 44.0%
20代	20.よく食べる方である 64.7%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 58.8%	02.話すとき身振りが多い 58.8%	09.負けずぎらいだと思ふ 56.9%	11.食事のあとはかならずくつろぐ 52.9%
30代	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 64.9%	20.よく食べる方である 61.4%	09.負けずぎらいだと思ふ 57.9%	02.話すとき身振りが多い 43.9%	11.食事のあとはかならずくつろぐ 43.9%
40代	04.友だちなどから頑張り屋だと思われている 51.0%	43.人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない 42.9%	20.よく食べる方である 42.9%	09.負けずぎらいだと思ふ 42.9%	37.テレビはよく見る 42.9%
50代～	08.しなければならないことがいつもたくさんある 65.1%	20.よく食べる方である 60.5%	04.友だちなどから頑張り屋だと思われている 51.2%	28.食事は人より速い 48.8%	37.テレビはよく見る 41.9%

(MA%)	全 体	男性計					女性計					労務・健康管理	
		20代	30代	40代	50代～	20代	30代	40代	50代～	従事者	非従事者		
調査数	n=417	n=217	n=50	n=60	n=53	n=54	n=200	n=51	n=57	n=49	n=43	n=77	n=340
よく食べる方である	53.5	49.8	46.0	53.3	58.5	40.7	57.5	64.7	61.4	42.9	60.5	57.1	52.6
人からばかにされたり、不当な扱いをうけるとがまんがならない	49.6	49.3	48.0	48.3	60.4	40.7	50.0	58.8	64.9	42.9	27.9	57.1	47.9
負けすぎらいたと思う	47.0	46.1	64.0	50.0	39.6	31.5	48.0	56.9	57.9	42.9	30.2	50.6	46.2
テレビはよく見る	45.6	47.0	46.0	43.3	47.2	51.9	44.0	47.1	43.9	42.9	41.9	54.5	43.5
期限のある仕事を、1つや2つはいつもかかえている	44.8	53.5	52.0	60.0	54.7	46.3	35.5	31.4	29.8	40.8	41.9	55.8	42.4
誰かと話している時その人がなかなか要点に入らないとせきたてたくなる	44.4	50.2	48.0	40.0	56.6	57.4	38.0	33.3	36.8	42.9	39.5	46.8	43.8
食事は人より速い	43.6	47.0	44.0	48.3	47.2	48.1	40.0	37.3	36.8	38.8	48.8	58.4	40.3
しなければならないことがいつもたくさんある	43.4	42.9	42.0	50.0	43.4	35.2	44.0	29.4	42.1	42.9	65.1	57.1	40.3
食事のあとはかならずくつろぐ	40.8	38.2	40.0	43.3	35.8	33.3	43.5	52.9	43.9	38.8	37.2	36.4	41.8
歩くのが速い方である	40.3	44.7	58.0	36.7	50.9	35.2	35.5	25.5	42.1	36.7	37.2	46.8	38.8
口論することがたまにある	39.3	43.3	50.0	45.0	35.8	42.6	35.0	39.2	36.8	30.6	32.6	42.9	38.5
友だちなどから頑張り屋だと思われている	38.6	31.3	40.0	25.0	30.2	31.5	46.5	43.1	42.1	51.0	51.2	50.6	35.9
自分の性格やおこないには満足できない点がかかり多い	38.4	41.0	46.0	36.7	35.8	46.3	35.5	47.1	42.1	24.5	25.6	41.6	37.6
話すとき身振りが多い	36.0	33.6	42.0	40.0	30.2	22.2	38.5	58.8	43.9	26.5	20.9	39.0	35.3
いい仕事をしたとき、その仕事が正当に評価されないと腹が立つ	36.0	38.2	54.0	38.3	39.6	22.2	33.5	37.3	38.6	26.5	30.2	39.0	35.3
たとえ目上の人からでも、命令口調で言われたり、強制されると腹が立つ	34.8	34.1	42.0	18.3	45.3	33.3	35.5	35.3	40.4	28.6	37.2	35.1	34.7
短気な方だと思う	34.5	38.7	28.0	36.7	47.2	42.6	30.0	37.3	36.8	26.5	16.3	40.3	33.2
夏の休暇には山よりも海へ遊びに行きたい	33.1	33.2	38.0	23.3	39.6	33.3	33.0	45.1	43.9	22.4	16.3	28.6	34.1
すんだことをくよくよと考えることが多い	32.6	34.6	44.0	41.7	34.0	18.5	30.5	35.3	35.1	36.7	11.6	26.0	34.1
どちらかというとおとなしい方だと思う	31.7	36.9	26.0	33.3	37.7	50.0	26.0	19.6	26.3	34.7	23.3	24.7	33.2
仕事は人より速い	30.9	29.0	30.0	21.7	34.0	31.5	33.0	27.5	35.1	36.7	32.6	36.4	29.7
過去の腹立たしい出来事を思い出すと今でも腹が立つ	29.7	27.6	22.0	28.3	35.8	24.1	32.0	45.1	35.1	30.6	14.0	31.2	29.4

(MA%)	全 体	男性計					女性計					労務・健康管理	
		20代	30代	40代	50代～	20代	30代	40代	50代～	従事者	非従事者		
調査数	n=417	n=217	n=50	n=60	n=53	n=54	n=200	n=51	n=57	n=49	n=43	n=77	n=340
夜遅くまで勉強や仕事をすることがよくある	29.7	34.1	44.0	31.7	37.7	24.1	25.0	21.6	26.3	24.5	27.9	45.5	26.2
刺激的なことが好きである	29.3	33.2	56.0	41.7	22.6	13.0	25.0	29.4	36.8	20.4	9.3	20.8	31.2
一日の中でもゆったりと落ちつける時間はあまりない	29.3	27.2	24.0	26.7	32.1	25.9	31.5	17.6	31.6	38.8	39.5	35.1	27.9
平凡な人生をおくりたい	29.0	28.1	26.0	16.7	35.8	35.2	30.0	31.4	22.8	38.8	27.9	26.0	29.7
むきになることが多い	28.1	27.6	34.0	28.3	30.2	18.5	28.5	31.4	31.6	32.7	16.3	29.9	27.6
声の大きさは普通か、小さい方である	27.8	28.6	30.0	28.3	32.1	24.1	27.0	25.5	35.1	26.5	18.6	22.1	29.1
なにもしないでじっとしているのは苦手である	27.1	27.6	20.0	28.3	26.4	35.2	26.5	23.5	28.1	22.4	32.6	32.5	25.9
のんきだと思う	26.6	23.0	24.0	28.3	22.6	16.7	30.5	31.4	38.6	24.5	25.6	24.7	27.1
理髪店や美容院に行く時間をつくるのに苦労する	25.9	25.3	28.0	28.3	20.8	24.1	26.5	15.7	33.3	30.6	25.6	31.2	24.7
気分の変動がはげしい	25.4	25.3	36.0	26.7	28.3	11.1	25.5	39.2	33.3	20.4	4.7	26.0	25.3
グループの中心になって動くことが多い	24.9	30.4	34.0	33.3	22.6	31.5	19.0	25.5	12.3	22.4	16.3	36.4	22.4
早口の方である	24.2	25.3	42.0	20.0	24.5	16.7	23.0	23.5	29.8	16.3	20.9	26.0	23.8
昼食をとれないほど忙しいことがときどきある	21.8	25.3	34.0	25.0	20.8	22.2	18.0	5.9	21.1	22.4	23.3	29.9	20.0
仕事をしている時、他の人が話しかけたりするといらいらしてくる	20.4	22.6	30.0	15.0	28.3	18.5	18.0	25.5	17.5	20.4	7.0	23.4	19.7
他の人より努力していると思う	19.4	21.2	22.0	18.3	18.9	25.9	17.5	7.8	12.3	24.5	27.9	40.3	14.7
もう少しという所をもう5分というように具体的な数字を使うことが時々ある	18.7	24.4	28.0	31.7	20.8	16.7	12.5	13.7	14.0	16.3	4.7	18.2	18.8
すぐ気を悪くする方だと思う	18.2	20.7	30.0	18.3	28.3	7.4	15.5	15.7	21.1	18.4	4.7	19.5	17.9
トイレに行く時間さえも惜しいと思うことがたまにある	18.0	13.4	16.0	16.7	15.1	5.6	23.0	27.5	24.6	22.4	16.3	26.0	16.2
いつも何かしていないと落ちつかない	17.7	20.3	20.0	21.7	18.9	20.4	15.0	15.7	12.3	20.4	11.6	22.1	16.8
他人の成績が気になる方である	16.3	17.1	28.0	15.0	17.0	9.3	15.5	21.6	19.3	14.3	4.7	19.5	15.6
議論するとたいい相手を納得させることができる	13.7	16.6	18.0	21.7	13.2	13.0	10.5	19.6	5.3	4.1	14.0	24.7	11.2
1人や2人の競争相手はいつもいる	11.3	16.1	18.0	16.7	17.0	13.0	6.0	5.9	8.8	4.1	4.7	13.0	10.9

以上の結果から「時間切迫性」、「攻撃－敵意性」、「競争性」の因子によって構成される Type A 得点を算出し、平均 32.58 点であった。

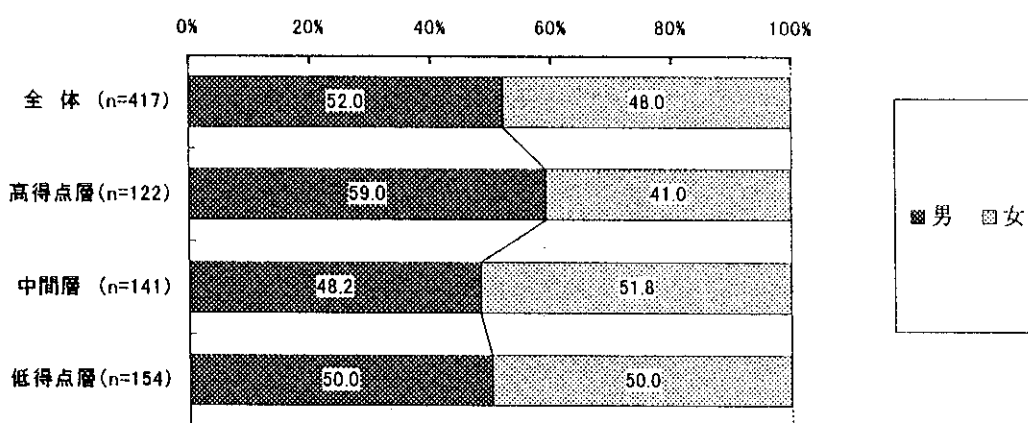
更に、この Type A 得点をもとに対象者を 3 つの層に分類し、それぞれの比較分析を行った。

分類	得点	人数	構成比
高得点層	40 点以上 (平均+5.5 点以上)	122 名	29.3%
中間層	27 点～39 点以下 (平均±5.5 点)	141 名	33.8%
低得点層	26 点以下 (平均-5.5 点以下)	154 名	36.9%

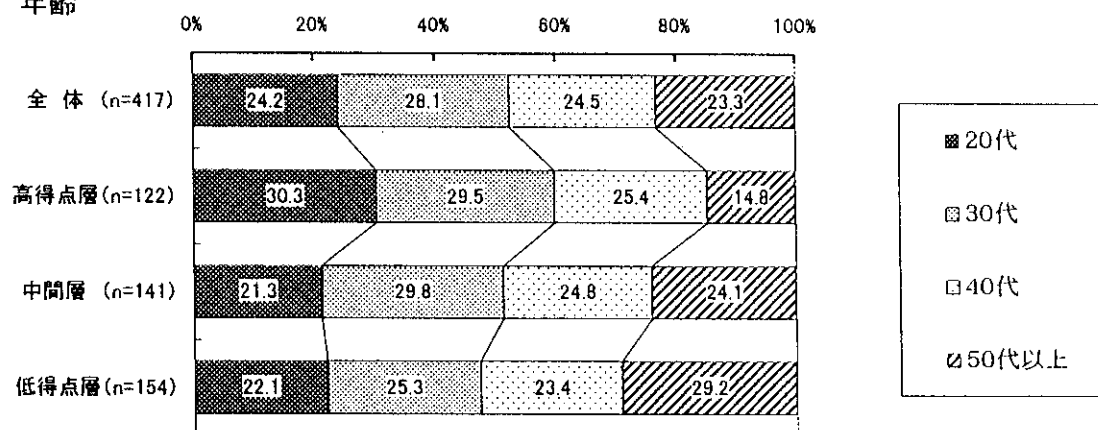
①高得点層のプロフィール

高得点層は男性が 6 割を占め、男女半数ずつの他の層とやや差がみられ、年齢でも 20 代が多く、50 代以上がやや少ない構成となっており、中間層、低得点層とその構成がやや異なっている。

a. 性別



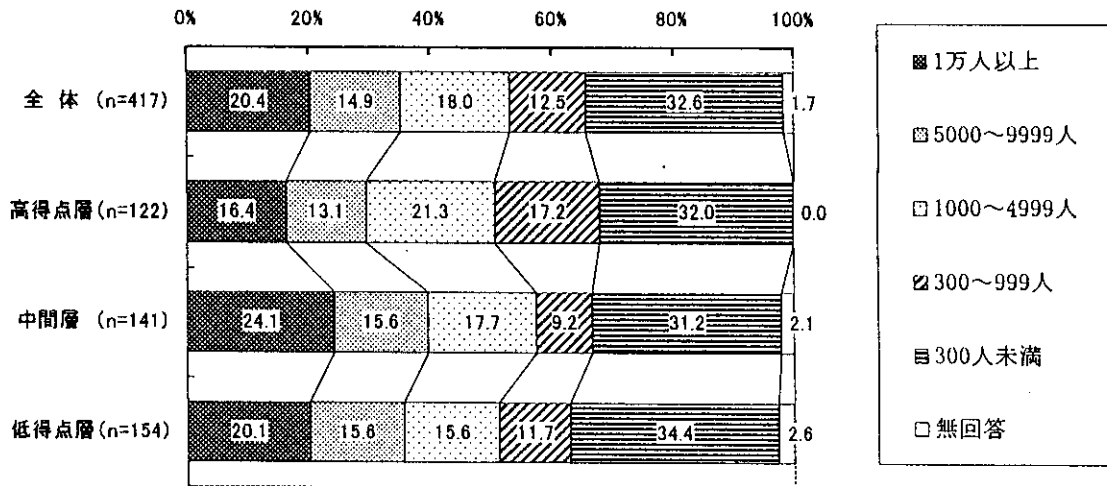
b. 年齢



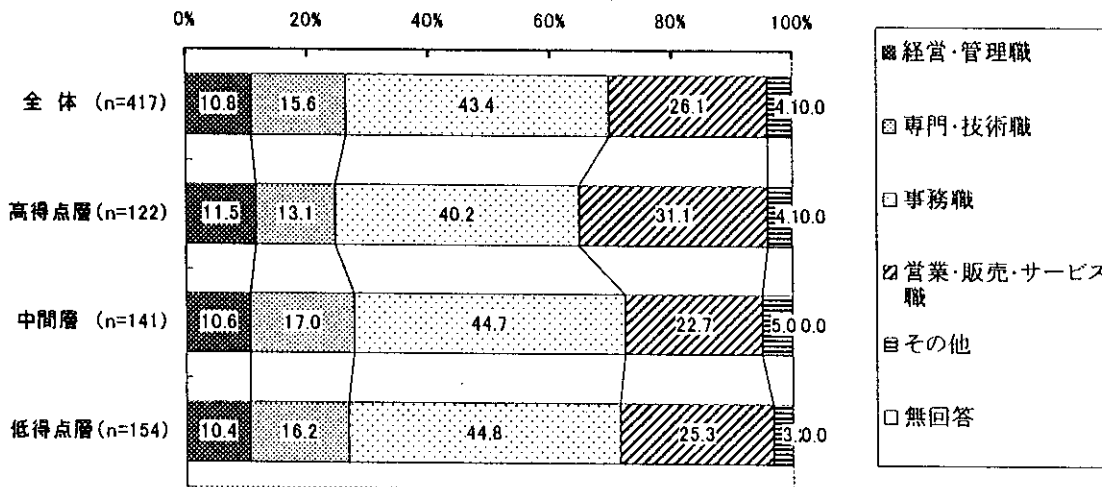
就業の内容でみると、高得点層は従業員規模が「1000～4999 人」(21.3%)、「300～999 人未満」(17.2%) など大企業レベルで比較的規模小さい企業が他の層より多く、職種では「営業・販売・サービス職」(31.1%) が多くなっている。また、就業時間では「8 時間未満」(7.4%)、「8～9 時間未満」(12.3%) が少なく、「10～11 時間未満」(28.7%) が最も多くを占めるなど、他の層に比べ非常に長い。

生活状況でみると、睡眠時間が短く、6 時間未満が 1/3 を占めている。また、飲酒、喫煙率とも僅かではあるが他の層を上回っている。

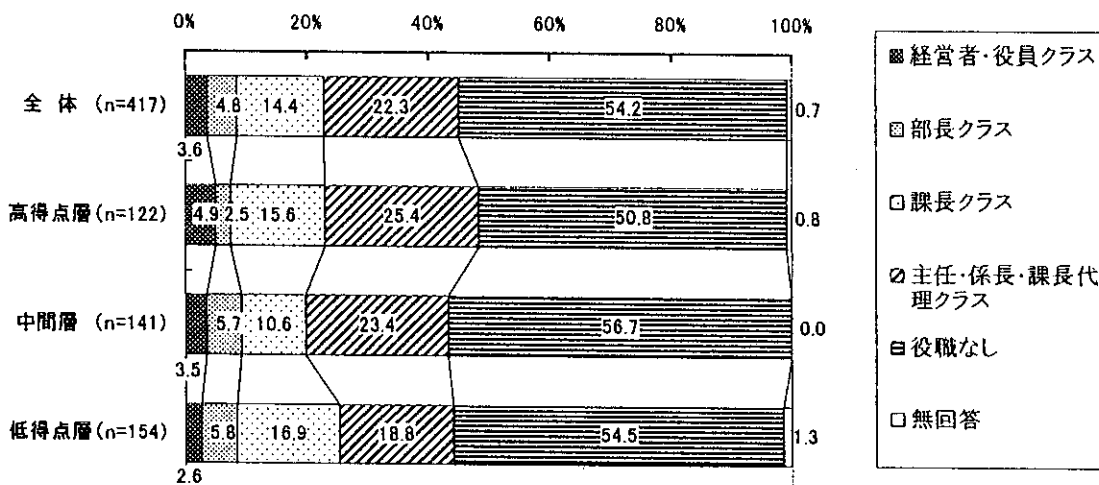
c. 企業規模



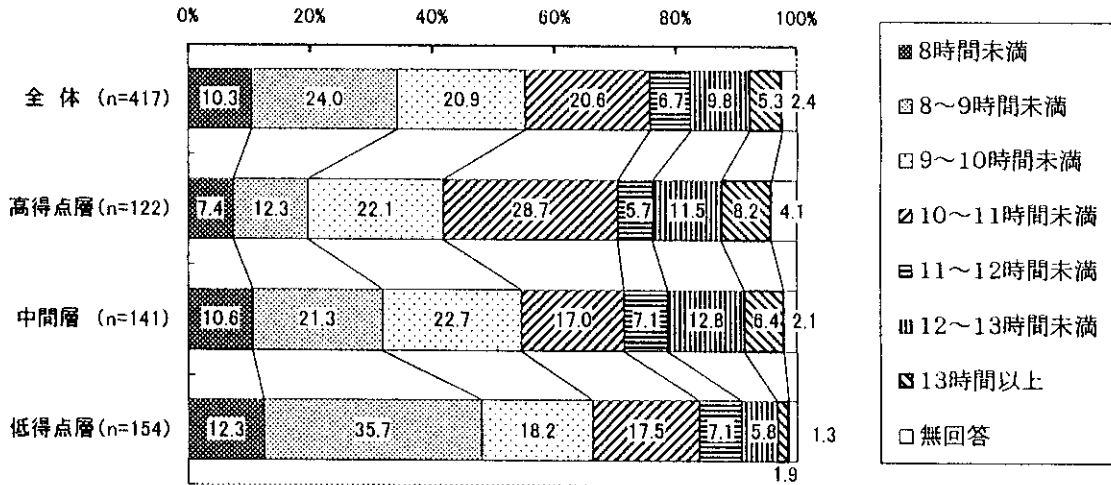
d. 職種



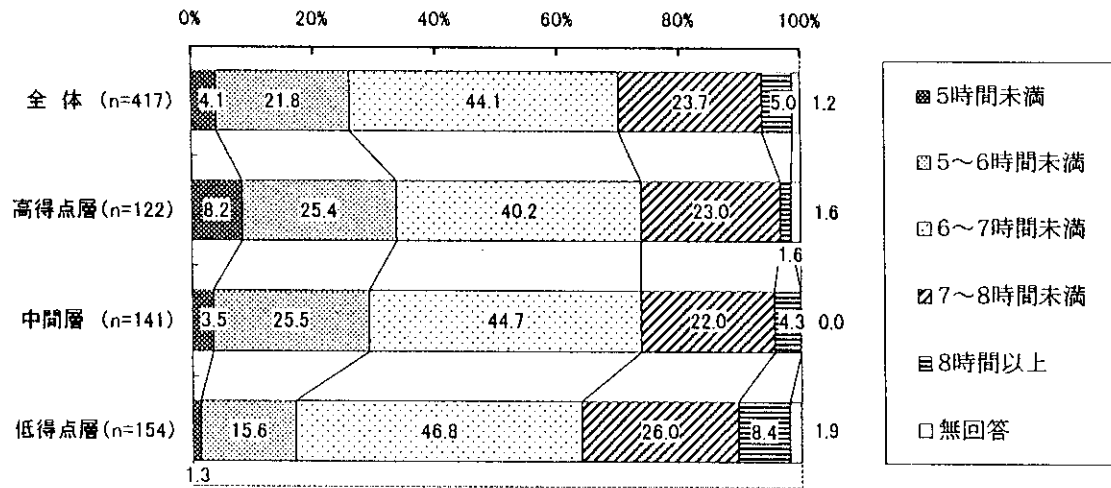
e. 役職



f. 勤務時間



g. 平日の睡眠時間



h. 飲酒・喫煙の有無

